

9914 介護料			
品目	銘柄	詳細	単位
介護料	介護サービス費，利用者負担分	所得区分別， 施設種類等指定， 所要時間区分指定， 要介護度別	1回， 1日
	サービス種別		
価格選定（銘柄） (1) 利用者の多い，通所介護，訪問介護，介護老人福祉施設のサービスを選定する。制度改正があった場合には再選定する。			
価格選定（詳細） (2) 所得区分別の利用者負担分の価格を用いる。なお，高額介護サービス費を考慮する。 (3) 各サービスから介護を受ける施設又は介護の種類を選定する。 (4) 所要時間区分のあるサービスについては，利用の多い区分を選定する。 (5) 要介護度別に負担額が設定されているサービスについてはそれらの価格をすべて用いる。			
指数算出方法 サービス種類(i)別，調査市町村(e)別平均価格の算出 サービス種類ごとに，所得区分(a)別，施設種類等(b)別，所要時間区分(c)別，要介護度(d)別の価格を選定し，サービス種類別の平均価格を算出した後，地域加算率を乗じて調査市町村別の平均価格を算出する。 なお，利用人数は入手できる最新のものをを用いる。			
要介護度別に負担額が設定されているサービスについて利用人数を用いて加重平均し，所要時間区分別の平均価格を算出する。			
$P_{M,i,a,b,c} = \frac{\sum_d P_{M,i,a,b,c,d} q_{(M-1),i,a,b,c,d}}{\sum_d q_{(M-1),i,a,b,c,d}}$			
所要時間区分別に負担額が設定されているサービスについて，利用人数を用いて加重平均し，施設種類等別の平均価格を算出する。			
$P_{M,i,a,b} = \frac{\sum_c P_{M,i,a,b,c} q_{(M-1),i,a,b,c}}{\sum_c q_{(M-1),i,a,b,c}}$			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>M：当月 i：サービス種類 a：所得区分 b：施設種類等 c：所要時間区分 d：要介護度 e：調査市町村</p> </div>			
施設種類等別の利用人数を用いて加重平均し，所得区分別の平均価格を算出する。			
$P_{M,i,a} = \frac{\sum_b P_{M,i,a,b} q_{(M-1),a,b}}{\sum_b q_{(M-1),a,b}}$			
所得区分別の利用人数を用いて加重平均し，サービス種類別の平均価格を算出する。			
$P_{M,i} = \frac{\sum_a P_{M,i,a} q_{(M-1),a}}{\sum_a q_{(M-1),a}}$			
地域加算率を乗じて，サービス種類別，調査市町村別の平均価格を算出する。			
$P_{M,e,i} = P_{M,i} \times (\text{地域加算率})_{e,i}$			

品目別価格指数の算出

サービス種類別，調査市町村別の価格比についてサービス別費用額を用いて加重平均し，前月（制度改正前）を 100 とする連環指数を算出する。

$$I_{M,e}^{(L)} = \frac{\sum_i \frac{P_{M,e,i}}{P_{(M-1),e,i}} \times W_{(M-1),i}}{\sum_i W_{(M-1),i}}$$

連環指数を前月（制度改正前）の指数に乗じて，調査市町村別の品目別価格指数を算出する。

$$I_{M,e} = I_{(M-1),e} \times I_{M,e}^{(L)}$$

価格指数の適用

調査市町村別